

川あそびガイド

しぜんいっぱい四万十川 下流域版



川を知り 安全に楽しもう!

渡川水系水難事故等防止連絡会
(事務局) 四国地方整備局 中村河川国道事務所 Tel:0880-34-7301

学 ぶ

四万十川の自然を学ぼう!

水生生物調査

昭和59年から四万十市内の小学生を対象に、水をきれいにすることの大切さや水に親しんでもらう事を目的に水生生物調査を実施しています。

川の中や石の表面等にいる生物を自分たちで採取し、種類や数を観察します。また観察した生物から、水質がどれくらいきれいかわかると判断します。

親子水難事故防止教室

小学生に川で遊ぶ楽しさを体験してもらいながら、川の特長や危険を察知する能力、感覚を身につけてもらうため、また保護者には、水難事故に直面した時の救助、救出方法を学んでもらうため、親子水難事故防止教室を毎年実施しています。

小学生は着衣水泳やシュノーケリング等、保護者の方はAEDによる救助法や人工呼吸による救命方法を学びます。

遊 ぶ

四万十川と楽しく遊ぼう!

みる

箱めがねで水中をのぞいてみよう。四万十川には小さな生き物がたくさん住んでいるよ。

さわる

河原には変わった形や色の石がたくさんあるよ。自分だけのとくべつな石を見つけてみよう!

おおよぐ

川の流れを楽しもう。プールや海とはちがう感動体験がまっているぞ!

さか

四万十川の自然を水上から楽しんでもみよう。

知 る

川に行く前に 川に着いたら

① 川に行く前の確認

- テレビ、新聞、インターネットの天気予報で、行き先の天気を調べよう。
- 裏の地図を参考に、行き先の危険な場所を調べ、安全な行動計画を立てよう。

② 川に着いてからの確認

- 川に関するかんぱんがあれば確認しよう。
- 地元の人がいれば、川のとくちょうを教えてもらおう。
- けいたい電話で川上の天気を確認しよう。

川の防災情報

リアルタイムの雨量と水位を知りたい時は 携帯電話やスマートフォンでアクセス!

<http://i.river.go.jp/> (携帯電話版)
<https://www.river.go.jp/s> (スマートフォン版)

川の防災情報とは、身近な「雨の状況」、「川の水位と危険性」、「川の予警報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。

(提供) 国土交通省 水管理・国土保全局

その他、NHKデータ放送で雨量・水位等の情報がリアルタイムで確認出来ます。

緊急時連絡先 警察 110 消防・救急 119

(平成22年6月作成、平成30年12月更新)

守 る

川あそびの時の大切な約束

- ① 天気予報を確認しよう
- ② 警報が出ていないか確認しよう
- ③ 体調もチェックしよう
- ④ 正しい服装をしよう
- ⑤ お家の人に行動予定を伝えよう
- ⑥ 大人と一緒に出かけよう
- ⑦ 危ない所へは近づかない
- ⑧ 危ないと感じたらやめる
- ⑨ ひとりでは遊ばない
- ⑩ ゴミは持って帰ろう

川あそびの服装

水に入るとき

- ライフジャケット
- ぬれてもよいふく
- ぬれてもよいうんどうくつなど
- ビーチサンダルはぬげてきけんなので使用しない

かわらや水辺であそぶとき

- ぼうしをかぶる
- ぐん手をする
- うごきやすいふく
- ぬれてもよい歩きやすいくつ

注 意

川には危険な場所があります 川あそびの時には注意しましょう!

いつも流れが速いところは、見えない岩や深みが多いので注意しよう!

四万十川をおよいでわたるのは危険だよ!

- 川に流れられ深みでおぼれる
- 体力を過信して力尽きる

おぼれた人を見つけても、水の中に助けに入らないで!

- おぼれた友達を救助に向かいおぼれる

橋の周りではおよがないで!

- 急な深みで足をとられておぼれる
- 流れが速く流される

水ぎわを歩くときは足下に気を付けて! 魚釣りは安全な場所で!

- 水ぎわの石や岩ですべる
- 石や岩に足がひっかかり転倒する

ダム放流中や大雨で増水している時の沈下橋は通行しないで!

- 流れにのみこまれる
- 増水した川に流される

沈下橋からの飛び込みには気を付けて!

流れがうずまいている場所には近づかないで!

- 流れのうずまきこまれる

水温の変化に注意しよう!

川底の形を下流から見れば!

川底は複雑な形状をしているよ。

- 場所によって水の流れや水温が変化するよ。
- 川の流れや形状は日によって変化するよ。

川で泳ぐとき、魚釣りをするときはとくに注意しよう。

《四万十川で事故の多い行動》

行動	事故件数 (H11~H21)
水泳中	18
魚釣り	16
通行中	14
水遊び	12
水難救助中	10
ボート遊び	8
遊覧スリッパ中	6
作業中	4
その他	2

救 う

もしもおぼれたら... 安全な助け方

おぼれそうになったら

- まず心をおちつけよう。
- 体温を守り体力を残すために服は脱がないで!
- あおむけで浮き、つかめるものがあれば、つかむ。

流されてしまった時

- 足を下の方へ向け、少しづつ浅い岸の方へ。
- 力まずに水面に浮くことを考えよう。

約束

おぼれた人を見つけても、ぜったいに水の中へ助けに行かない!

- ① まず、大きな声で大人の人を呼びにいこう。
- ② つぎに、陸の上から近くにある、浮く物を投げてあげよう!

ロープの投げ方

① 投げる前に「ロープ!」と合図をして、おぼれている人の少し下流に落ちるように投げます。

② おぼれている人がロープにつかまったら、自分も流れないように注意し、ロープをピンと張って、ふりこのように岸へみちぎきます。

ロープの受け方

受け取る人は息ができるように、あおむけで持ちましょう。

備えておきたい救命具 (スローバック)

バッグの中に水に浮くロープが入った道具です。

おぼれた人を助けたとき